

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 池島小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価は概ね妥当である。
各種アンケートや日々の指導や情報交流を通して、児童・保護者・地域の思いや願いを把握したうえで指導に反映できている。今後も組織的な取り組みを期待する。
今年度は地域とともに、創立50周年記念式典をはじめ、交通安全指導、福祉学習、池島ふれあいまつりと多くの行事を共にできたことに感謝している。文化的な取組もありがたく思う。
今後とも続けてほしい。
不登校児童への対策も引き続きお願いしたい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。

➡85.4%

○令和5年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

➡2.63 上昇

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

➡不登校児童 2名

学校園の年度目標

○令和7年度の小学校学力経年調査及び年度末の校内調査の「学校に行くのは楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合をいずれも80%以上にする。

➡経年 85.0% 校内 87.0%

○令和7年度の小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

➡97.0%

○年度末の校内調査において、「いじめは絶対に許されないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。

➡91%

○年度末の校内調査において、「学校や学級のきまり（約束）を守っていますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を60%以上にする。

➡55.2%

○令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする

➡98.7%

○達成状況の評価は概ね妥当である。各種アンケート調査や実態を丁寧に分析し、成果と課題を明確にできていると考える。

○いじめに関する取組を引き続き強化してほしい。いじめは絶対だめだという意識をもさらにもたせて、いじめをなくしてほしい。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

○令和7年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して最も肯定的な回答をする児童の割合を40%以上にする。

➡52.5%

○令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上し1.00以上にする。

	国語				算数			
	R4	R5	R6	R7	R4	R5	R6	R7
現6年生	0.81	0.66	0.68	0.75	0.68	0.60	0.68	0.92
現5年生		0.67	0.58	0.81		0.59	0.46	0.80
現4年生			0.81	0.78			0.66	0.83
現3年生				0.82				1.02

○令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

➡97.0%

○令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

➡72.3%

○令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

➡84.7%

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。

➡71.7%

○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（令和5年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を70%、80%以上にする。

➡寝ている78.9% 起きている84.3%

○達成状況の評価は概ね妥当である。各種アンケート調査や児童の実態を丁寧に分析し、成果と課題を明確にできていると考える。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

○令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

➡80.2%

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の51%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕

➡89.1%

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を100%にする。

(基準2とは、時間外勤務が年間720時間以下、月45時間を超える月数6月以下、月100時間を超える月数0、前2～6か月の平均が80時間を超える月数0)

項目	R5	R6	R7
基準1※3	78.26%	90.48%	71.43%
基準2※3	100.00%	100.00%	95.24%

○達成状況の評価は概ね妥当である。各種アンケート調査や児童の実態を丁寧に分析し、成果と課題を明確にできていると考える。

○読書活動にさらに力をもっと入れてほしい。ボランティア等も活用してもらいたい。

3 今後の学校園の運営についての意見

- 「いじめを許さない取組」「自尊感情・自己有用感を高める取組」は大変大切と考える。日々の先生方のご苦勞のおかげで向上傾向にあることは喜ばしい、来年度以降も引き続き組織的な尽力を期待する。
- 不登校傾向にある児童への働きかけを関係諸機関と連携を深め、今後も期待する。引き続き、保護司等の地域の人材の協力も進める。
- 漢字検定計算力実態調査を活用して今後も児童の学習意欲を喚起してほしい。組織的な支援によりその学年の学習を次年度に積み残さない指導を今後も力強く推進することを期待する。
- 防災訓練に関しては、地域との連携を強化したい。避難訓練の実施についても地域との合同開催等を含めて引き続き検討願いたい。
- 子どもがコンピュータを使いこなして学習していることに驚きを感じる。今後も、もっともっと進めてもらいたい。情報の取捨選択を含めて、子どもにとって安全な活用をお願いしたい。
- 来年度も新たな取組に期待する。
- 児童数の減少が止まらないが、地域も応援するので一層の「学校力」の向上を今後も期待する。
- 学校再編に向けて動き出しているが、池島の良さをもっともっとだしてもらいたい。
- 複式学級も定着しているようだが、今後も見通しが持ちづらいが引き続き子どもたちの育成を願う。